

自治体が提供する防災アプリの例①

■ 福岡県福岡市 【ツナガル+】

- 災害時に最寄りの開設避難所を一覧、マップで表示するほか、避難所内で情報共有ができるスマートフォンアプリ。平常時モードと災害モードの2つのモードで構成されており、アカウントを作成する事で避難所に参加したり、避難所トピックに投稿をする事が可能。

◆ 平時から使える機能（平常時モード）

- 近くの避難所を表示
一覧や地図上で近くの避難所を確認できる。
- 各避難所の設備の表示
各避難時に備わっている設備などの情報を確認できる。
- 避難所へのルート案内
現在地から避難所までの道のりを確認できる。
- 危険度表示
ハザード情報を簡単に確認できる。



出典：福岡市

◆ 災害時に使える機能（災害モード）

大規模災害が発生した場合、アプリが自動的に災害時モードに切り替わると同時に通知が配信される。災害時モードでは、平常時から利用できる機能に加え、次の機能が利用できるようになる。

- 避難所の電子掲示板として情報共有
通勤や通学などで避難所を不在にしていても、アプリ上で情報を入手できる。
- 市からの支援情報を入手
在宅でも、アプリを通じて市からの物資支援の情報を入手できる。
- 指定外の避難所から市への情報発信
やむを得ない理由で指定避難所に入れず、公園や駐車場などに避難した場合でも、アプリ内で指定外避難所を作成し、福岡市に避難場所や被災状況を発信することができる。

自治体が提供する防災アプリの例②

■ 静岡県／KENTEM(株式会社建設システム) 【クロスゼロ for ファミリー】

- 静岡県は、県民一人ひとりの防災意識向上と地域防災力の強化を目的とした「地域防災力の向上に向けた連携・協力に関する協定」をKENTEMと締結している。

◆ 各主体の役割

➤ 静岡県

- 防災情報及びデータを提供する。
- 総合防災アプリ「クロスゼロ for ファミリー」に「わたしの避難計画」作成機能を追加するために必要な情報、データについて提供する。

◆ クロスゼロ for ファミリーの機能概要

➤ 家族の情報を共有

家族の安否確認や位置情報、スマートフォンのバッテリー残量の共有、家族専用チャット機能。

➤ 防災情報

気象庁から配信された地震速報や大雨・洪水情報などを素早く通知可能。

➤ 備蓄管理

家庭の備蓄品を登録し、備蓄量や消費期限を管理できる。

➤ 避難所情報・ハザードマップ

日本全国の避難所や避難場所、洪水や津波・土砂災害などのハザードマップを確認できる。

➤ KENTEM

- 総合防災アプリ「クロスゼロ for ファミリー」を用いて県民に防災情報を発信する。
- 「クロスゼロ for ファミリー」に「わたしの避難計画」作成機能を追加する。

➤ 防災学習

災害の種類ごとに災害に対する日頃の備えから、災害で困ったときに役立つ情報を学ぶことができる。

➤ リスク共有

発災後の避難箇所の投稿や、支援物資情報、給水所情報など、利用者が情報を発信できる。

出典：KENTEM（株式会社建設システム）

